

参考データ・写真等

飼料用米の鶏への給与試験

①レイヤーへの給与試験（経済連飼料養鶏課）

●試験および方法

●供試鶏 採卵鶏 489羽

●給与期間 平成20年9月上旬～40日間
515～555日齢

●給与飼料

「成鶏用17T」のトウモロコシ添加割合の50%を飼料用米（粳）に置き換え成分調整（飼料用米は全体の30%となる）

- 発育成績については、玄米、粳のいずれも粉碎したものが良好な結果であった。
- 粳圧ペン、玄米は一部が未消化のまま糞中に排出されていた。
- 粳圧ペン区に一部格落ちが見られたが、飼料用米給与による枝肉成績への影響は少ないものと推察された。
- 肉中の脂肪酸組成において、飼料用米給与区のオレイン酸が有意に高くなり、リノール酸が有意に低くなった。
- 対照区と玄米粉砕区を比較した食味試験では、玄米粉砕区の方が良好な結果を示した。

②肥育後期（体重70kg～110kg）に飼料用米を10%混合。

- 玄米粉砕、粳粉碎のいずれも10%混合で発育成績および枝肉成績への影響は見られなかった。
- 肉質については、いずれの項目も試験区間に差が見られなかった。

採卵鶏

- 産卵率、卵重に影響は認めなかった。
- 卵黄色の淡色化が認められた。
- 未消化の粳が排泄された。
- 粳殻が排泄されるため、糞量が多くなった。
- 飼料用米配合飼料の嗜好性は従前の飼料と変わらなかった。

ブロイラー

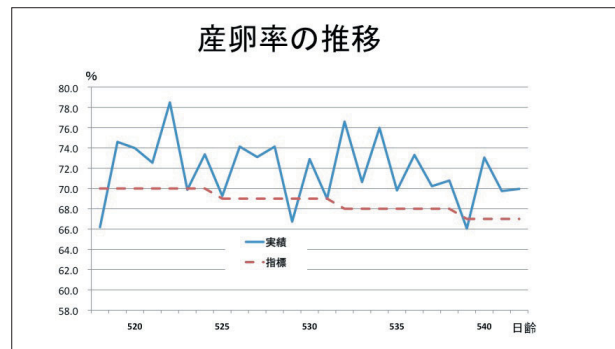
- 添加割合は10%程度が適当と思われた。
- 嗜好性は良好であった。
- 米の吸収は良好であり、糞中に粳殻の破片を認めた。
- 飼料用米添加量による肉色調の相関は認めなかった。

3. 今後の飼料用米の取組予定などについて

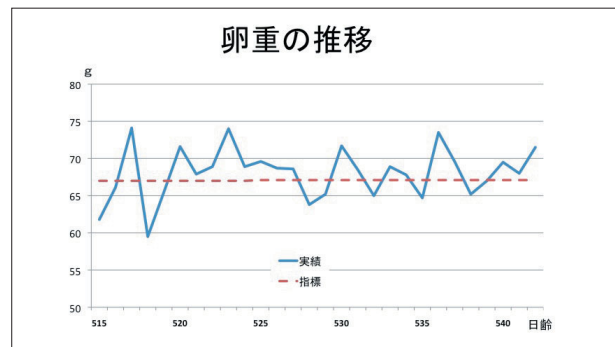
今後も作付面積の拡大を図っていくこととしており、それに応じた飼料用米利用農家等とのマッチングを行っていく。

宮崎経済連飼料養鶏課

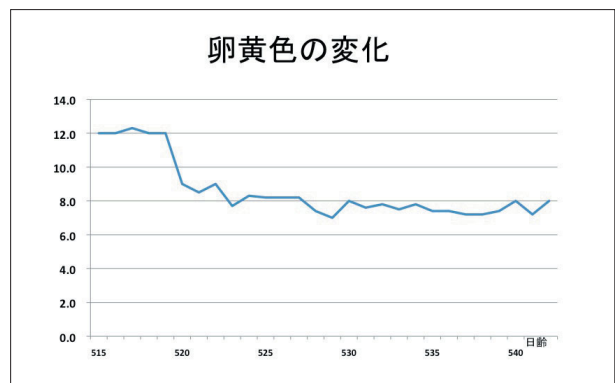
産卵率の推移



卵重の推移



卵黄色の変化



●飼料用米の消化状況

- ・ 添加粳量に対し、約5.4%の粳が排泄された
- ・ 粳殻のみも排泄された

●まとめ（レイヤー）

- ・ 産卵率、卵重に影響は認めなかった
- ・ 卵黄色の淡色化が認められた